

# 岩野田・岩野田北 コミバス通信

第2号

【編集】岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会準備会 【発行日】平成30年12月15日



運行ルートや運行日  
などを協議しています

▲市からも岡本交通総合政策課長が出席し、準備会を開催。運行ルートや運行日、便数などを協議。写真は、第2回準備会の様子(8月27日)。

## ●運行ルートを詰める計画部会、バス停を検討する管理部会を設置

【経緯・主な会議の開催・今後の予定】

4月26日	検討会議：市から説明・質疑
5月28日	事務打合せ会議：準備会総会の確認
7月9日	準備会総会：準備委員・規約確認、役員選出、事業計画案・予算案の承認
7月26日	役員会、広報部会：創刊号編集会議
8月27日	準備会：運行ルートの検討
9月10日 11日	岩野田北まちづくり協議会(福祉部会)・岩野田計画部会：運行ルートの検討
9月20日	役員会：運行ルートの検討
10月15日	役員会：運行ルートの検討
10月25日	準備会：運行便数、運行日などを協議
11月6日 12日	岩野田北・岩野田管理部会：バス停の検討
11月7日	計画部会：運行周回(右回り・左回り等)の検討
11月12日	広報部会：2号編集会議(12月15日発行)
↓	市において予算案上程、バス運行事業者(会社)の公募、準備会を運営協議会に移行、コミバス愛称募集を予定
来秋	コミバス運行(目標)

※バス車両の調達時期によっては、運行開始時期が来秋以降となります。

## ●買い物や通院などに便利になるようルートを計画中

### ●基本ルート

- ①総合病院(岐北厚生病院、岩砂病院)、②スーパー(パロー、トミダヤ、サンマート)、③岐阜バスとの接続(下岩崎バス停)、④癒やしの公共施設(神仏温泉)を回遊します。

### ●計画中の運行ルートは1周約20kmで所要時間はおよそ1時間

岩野田ルート(10.4km)と岩野田北ルート(9.5km)でパローを起点終点として周回し、右回り(時計回り)と左回りの交互運行を計画中です。

### ●おもな運行ルート(右回り)

地域の病院やドラッグストアも、ルート沿いかルート近くに位置します。

#### <岩野田ルート>

パロー→トミダヤ→三田洞団地集会場→岐阜バス三田洞終点→神仏温泉→下岩崎バス停→サンマート→岩砂病院→下岩崎バス停→バイパス経由・岩崎山手→パロー

#### <岩野田北ルート>

パロー→トミダヤ→粟野西1・5・6・8(八幡洞)・7丁目→粟野台→黒木橋→粟野東3丁目→岐北病院→地域包括支援センター→パロー

### ●各地区のコミバスを乗り継いで遠出も

サンマートか岩砂病院の停留所で「さんさんバス(常磐・鷺山・長良西地区)」に乗り継ぎマサ、岐阜赤十字病院へ、また「ながらうかいバス」に乗り継いでパロー長良店方面へ、あるいは岐北病院で山県市の「ハーバス」に乗り継いで平和堂へ行くことも可能です。

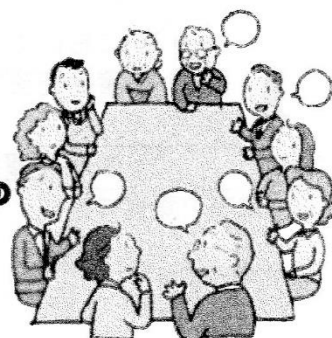
### ●地域には魅力的な見どころもあります

岐阜市民の憩いの場の神仏温泉や三田洞弘法、ながら川ふれあいの森、百ヶ峰などは地区外の方々にも魅力的なスポットです(右頁参照)。下岩崎バス停やサンマート、岩砂病院の停留所で、他地域からも乗り継ぎ利用してもらえよう、広く案内したいですね。

### ●1日6便(時間帯は検討中)。日・祝日は運休(病院の休診日、採算面等を考慮)。

#### コミバス運行の特徴は住民参加!!

地域住民と市職員で構成する協議会で運行ルートや運賃などを計画します。運行後も、広告料の確保や利用促進など運営に、地域が協力し合って主体的に取り組みます。



## ●名所や郷土の見どころ、史跡も探索してみたい!!

【協力】岩野田の歴史を語る会

### ●どうして、「岩野田」という地名が付いたのでしょうか?

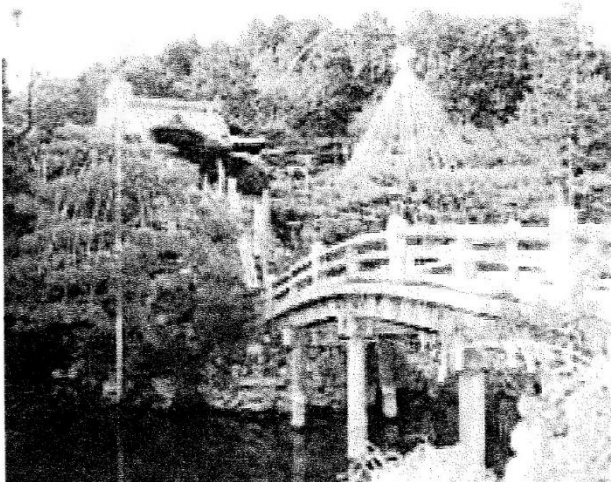
明治30年(1897年)、当時、方県郡に属していた岩崎村、三田洞村、粟野村の3村が合併して岩野田村ができました。岩崎村の「岩」、粟野村の「野」、三田洞村の「田」の3文字を取って、「岩野田」と名付けられました。この時、方県郡から山県郡に入ることになりました。

明治44年4月、大橋尋常高等小学校(岩野田小学校の前身)の先生をしておられた深貝富三郎さんが作られた岩野田村巡覧唱歌によれば、家は400余り、住民は2,000人とあり、岩野田村誕生当時も、おそらくこの程度の規模だったと思われます。

昭和24年、岩野田村は岐阜市と合併。昭和38年頃から、三田洞東地区で市営住宅団地の造成事業が始まり、あわせて保育所、警察学校、自動車試験場、薬科大学などが建設されました。粟野地区、岩崎地区においても幹線道路の整備等により宅地造成が進み、人口規模が増大したため、昭和55年に、現在の岩野田と岩野田北地域(校区)となりました。

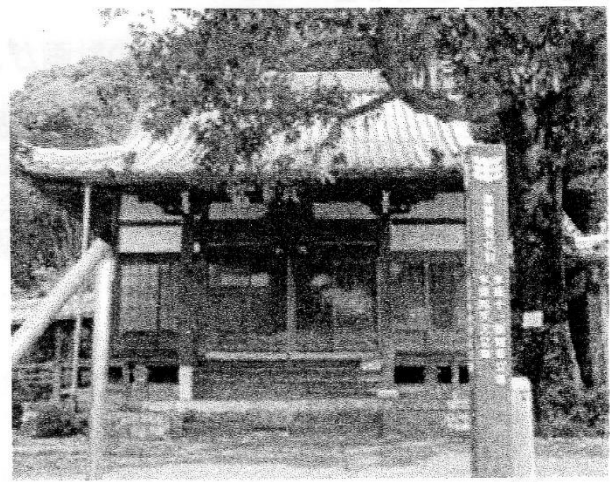
### ●郷土を再発見!…コミバスは散策にも利用できそうですね。

岩野田・岩野田北地域には、見どころが満載です。そんなスポットを少しご紹介します。



#### ▲法華寺(三田洞)

「三田洞の弘法さん」として有名。弘仁6年(815年)弘法大師開基。元和9年(1623年)に再建された境内は、庭を主にした作りで、本堂は池を渡ったところにあります。本尊は聖観音菩薩。春は桜とさつき、秋は紅葉が見どころ。



#### ▲済法寺(粟野西8丁目)

貞観3年(861年)創建。十一面観世音(県重文)が本尊。以前は、裏山の如来ヶ岳の中腹に位置したが、保元年間(1156~1159年)に桑名の漁師から、観音の発する光で魚が取れないとの申し出があったため、移されたと言われる。

**ほかにも、百々ヶ峰、眉山、如来ヶ岳、源太峰といった山々、大龍寺、霊松院など由緒ある寺院、諏訪神社、神仏温泉、あるいは鎧塚古墳をはじめとした古墳群など・・・多くの見どころがあります。今後、随時ご紹介していきたいと思います。**



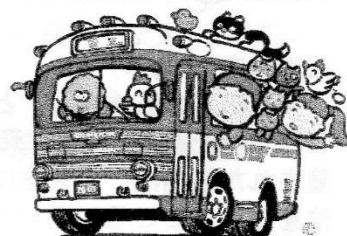
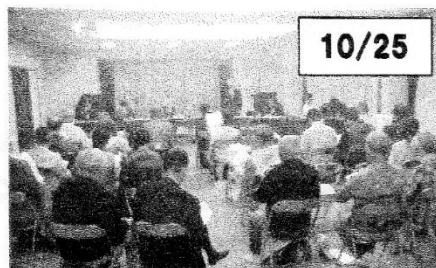
## 岩野田・岩野田北コミュニティバス等準備会は…

両地区から41人の委員、市交通総合政策課職員で組織されています。地域の皆さんの協力のもとに、委員の方々には、運行ルート計画などコミバスの運行を目指して、お骨折りをいただいています(創刊号参照)。

### ♥こんな点に苦勞しています

- 三田洞団地内は、傾斜がきついため、低床のコミバスが運行可能か、車両が決まってから、実際に走行させて走ることのできる道を確認・決定します。この地域は以前からコミバスの導入を要望していました。
- バイパス西の岩野田地域(岩崎山手)は道幅が狭いため、駐停車の車両があると通行できません。何とか地域の利便性を向上させたいと、みんなで知恵を絞っています。この地域は才峠への道で転回するルートを3案検討したのですが、道幅が狭く、いずれも運行不可となりました。現在は第4案目を検討中です。
- 粟野西8丁目と7丁目・粟野台を結ぶルートは道幅が狭く、ルート設定に苦慮しています。
- 1周 17kmに押さえ、周回時間をできるだけ短縮したかったのですが、1時間程度を要しています。運行後に乗降者数を踏まえた見直しも必要かもしれません。
- この夏はとても暑かったので、ルートの下調べは大変でした。
- 候補として選定したバス回転場の計画が、進まなかったことも何度かありました。
- 皆さんにコミバスの情報をお届けするため、コミバス通信の配備を病院などをお願いに上がりました。
- コミバス通信の編集会議では、「地域の歴史を、皆さんに紹介しよう…」など、まちづくりに関係した企画へと話題が広がりました。

役員会や部会で話し合ったり、資料を作成したり、作業をしたり…(汗)。



●地域の理解と協力とパワーで、コミバスの運行を目指しています。